
岐阜県立本巣松陽高等学校

学校長 池田 哲也

学校住所 本巣市仏生寺 8 5 9 - 1 電話 058-324-1201

- 1 会議名 本巣松陽高等学校学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年1月20日（木）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|------------------|
| 会長 | 川治 秀輝 | 本巣市教育長 |
| 副会長 | 長屋 由喜子 | 公益財団法人加藤記念奨学会理事 |
| 委員 | 石川 孝信 | もとす広域保護司（地域住民代表） |
| | 大草 由美 | 元PTA会長（地域住民代表） |
| | 吉村 知浩 | PTA会長 |
| 学校側 | 池田 哲也 | 校長 |
| | 川瀬 英樹 | 教頭 |
| | 有尾 隆宏 | 教頭 |
| | 高橋 正人 | 事務長 |
| | 笠井 智子 | 教務主任 |
| | 高田 剛 | 生徒指導主事 |
| | 不破 真之介 | 進路指導主事 |

5 会議の概要（報告及び協議事項）

（1）生徒及び保護者等を対象とした学校評価アンケートの結果（報告）

意見1：全体的に評価が下がっているのは新型コロナの影響による学校行事等の縮小が考えられるが、学校活動に理解や賛同がもらえる努力を何とか継続してほしい。

⇒ 来年度も可能な限り改善や工夫を図り、学校行事等を実施していきたい。

意見2：いじめや人権意識、自主性の育ちに関する項目の評価に向上が見られており、今後さらなる期待が持てる。

（2）今年度の取組に対する自己評価（協議）

① 教務部の自己評価・学校関係者評価

意見1：家庭学習の習慣が低いところが残念である。学校の授業で内容を習得し、家庭で復習する習慣が学力向上の基本である。

⇒ 家庭学習の定着のため、効果的な宿題の提示等を各教科で検討する。

意見2：授業参観の中止など保護者の来校機会の減少が評価の低下につながっている。

意見3：オンライン授業やタブレットなどの情報機器の活用により、それがむしろ先生方の多忙化につながってはいないか。

⇒ ICT教育推進に向けて、各教科内での研修はもちろん、教材や指導方法の共有化を進めることで、負担感を感じないような協力体制を強化したい。

② 生徒指導部の自己評価・学校関係者評価

意見1：いじめへの対応は肯定的な評価が得られており、喜ばしい。

⇒ 定期的ないじめアンケートだけでなく、日頃から生徒の言動を注視し、

教育相談機能を円滑に進めることで、今後も高いアンテナを張り早期対応に役立てたい。

意見2：遅刻の減少はとても評価できる。挨拶や言葉遣いなど社会人になったら必要とされる最低限のマナーも習慣付けすることが大切である。

⇒ 毎日の授業や部活動での挨拶指導、教員や先輩後輩間での会話において、強制力を持たせるのではなく、生徒自らが気付いて行動する支援を心掛けていきたい。

意見3：今、社会で起きている問題に気付く感性や問題意識を育てる場があるとよい。

⇒ 「総合的な探究の時間」のテーマ設定など、各授業の中でも意識的に身近な話題を取り上げていきたい。

③ 進路指導部の自己評価・学校関係者評価

意見1：個々の生徒の進路希望に沿ったアドバイスができているかについての評価が下がったとはいえ、8割強の生徒から肯定的な評価が得られたことはよい。

意見2：地域の中学校への発信として、本校生徒が卒業した中学校に対して、本校入学の生徒の現状や高校卒業後の進路先などを伝えていくとよい。

⇒ 今年度も行った中学校訪問時の資料に組み入れていきたい。

④ その他・部活動の結果

意見1：コロナ禍で活動が制限される中、ビーチバレーの国体出場など地道に努力できた。

(3) スクール・ポリシー（案）について

意見1：2回目で問題となった「知・徳・体」の「体」の部分もしっかり入っている。

意見2：「自ら考え行動できる力」はわかりやすい表現になり、これは本当に大切なので、生徒が力を付けられるよう指導してほしい。

(4) 生徒心得の改正の確認

意見1：生徒が自分たちの校則を考えたり、主体的に社会に参画する意識を高めたりすることができるので、この方向でお願いしたい。

6 会議のまとめ

今年度も新型コロナウイルス感染症による影響で、様々な学校行事や諸活動を延期又は中止としてきたが、少しでも以前の教育活動に戻すべくその形態や方法を変えることで昨年よりも生徒が自主性を発揮できる場を提供してきたことが評価された。

スクール・ポリシーの策定にも細かい部分まで慎重に検討いただき、創立101年目を学校活性化に向けた新たな出発として形作ることもできた。来年度は本校教育活動の柱のひとつとして、地域探究活動の在り方支援を学校運営協議会で検討する場としていきたい。